



ポーポキが住んでいるまちはとても寒い。でも、愛する友だちたちと一緒にいると、ポーポキは安心でき、あたたかく感じます。あなたも安心でき、あたたかく感じる事ができるといいですね。

Popoki's Hot News!



ポーポキのすべての友だちへ
今年もありがとうございました！
楽しい年末年始をお過ごしください。



ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語
～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」！
ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、「ポーポキ、
元気って、なに色?」や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー



ポーポキのお友だちのカメラにゃんから届いた平和。
「今日の午後は、薪を割ったあと、それを燃料とする台所のレンジの横に積み重ねました。次に薪小屋で手押し一輪車に丸太を積んで、テラスに運びました。その後、愉快にお茶を淹れ、パチパチという音を立てるたき火の前で淹れたてのお茶をすすりました。裕福、満足、平和。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



NEW! 灘チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!
<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

2015年11月18日 網干高校でのワークショップ

(文責：後藤美裕)



11月18日、網干高校でポーポキの平和教育ワークショップが実施されました。約30名の高校生が参加し、平和について考えたり表現したりしました。

まずは、平和とポーポキの活動についてアレキサンダー先生から説明がありました。皆、まっすぐな眼差しでお話を真剣に聞いていました。

その後「ポガ」をして、皆で一緒に身体を動かし、「平和」や「友情」を身体を使って表現しました。

また、「現在の日本は平和か？そうでないか？」という質問には、答えが大きく分かれました。平和だと答えた高校生からは、「核兵器がないから」「戦争していないから」という意見、そうでないと答えた高校生からは、「日本社会では、上下関係が存在するから」などといった意見が出ました。

最後に、ポーポキと一緒に暮らす平和なまちを、大きい模造紙を広げて皆で描きました。楽しそうなポーポキ、そして人の笑顔やお花がいっぱいのカラフルなまちが出来上がりました。平和について皆でイメージをふくらませることができ、今後もっと深く平和について考えてみようというきっかけをもらうことが出来たワークショップだったので、はないか、と思います。



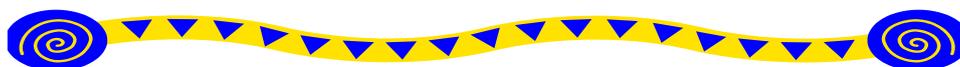
12月7日に東京の武蔵大学でポーポキと一緒にワークショップを開催しました。参加者は約20名で、そのほとんどはオーストラリアのディーキン大学と日本の武蔵大学の交換交流プログラムの参加者です。交流プログラムの学生は、二週間滞在予定のちょうど半分が経ったところでワークショップを受けました。



今回のテーマは「平和、安全・安心、そして多様性」で、彼らがこれまでの人生の中で見聞きした「多様性」について話し合い、平和との関係を考えました。さらに、安全・安心のための作業にも取り組みました。

いろいろな作業の中、学生がもっとも関心を持ったように思われたものは、いじめ、貧困、放射能、気候変動、難民、食糧安全などの問題をどの程度身近に感じるか、という作業です。また、平和と安全について楽しそうに考えたりしました。もちろん最後の絵描きタイム～ポーポキと一緒に暮らす平和で安全、多様性に富んでいるまち～も一生懸命でした。

みなさん、刺激的で面白いワークショップ、ありがとうございました！

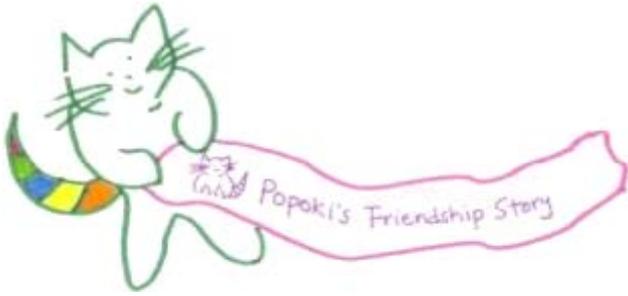


ポーポキ in 台湾

12月8日～10日、ポーポキは友だちと一緒に台湾の高尾市にある国立高尾海洋科技大学との交流に参加しました。同大学は、神戸大学大学院海事科学研究科と交流協定を結んでおり、とその一環として、「すべての人に教育を」というセミナーがありました。セミナーでろにゃんは、学生や教員を相手にポーポキ友情物語活動について報告しました。学生は大槌町の話に感動し、それぞれの「安全・安心」を布に描いてくれました。その後、先生方も描きました。

みなさん、お世話になりました。本当にありがとうございました！





Popoki's Interview

まりにゃん

エルサレムにからこんにちは。NICCO という京都の NGO で働いております、多田茉莉絵と申します。エルサレムに滞在しながら、ガザで農業支援のプロジェクトを行っております。今回は私の友だち、Walaa にインタビューを行いました。彼女はエルサレムに住むパレスチナ人で、イスラム教徒です。

Q. エルサレムに住んでいて、日々の生活で何か感じることはありますか？

A. いつもこれを説明するのは難しいですが、私の心の中には 2 人の私があります。それはパレスチナ人の私と常に平和な心を持つ私です。私は常に平和な心で平和なときを過ごしたいと思い日々を過ごしています。私は何の理由もなしに人を殺すような人を見ていられません。エルサレムに住んでいる人たちの多くはパレスチナが好きです。ですが、ときどき「パレスチナ人」といったカテゴリーで人を呼ぶのがいやになります。それは、私たちは名前を変えることができないからです。名前には、特定のイメージがあり、それによって人は他の人を認識するからです。エルサレムでは、使用する言語が違ったり、文化が違ったりするだけでなく、ボディランゲージも違います。そのような中でお互いを刺激しないように生きているのです。

Q. 最近パレスチナ人とイスラエル兵との間で衝突がありますが、それに対してどう思いますか？

A. 今世界は経済を基準に回っているでしょう。ここにいるパレスチナ人はよりよい生活と給料を求めて海外で働きたいと思っている人が多くいます。いまエルサレムではいろいろな衝突が起こっています。でもいつも私が信じているのは、神様は私たちのことを忘れないということです。例えば、イスラエル兵は最近旧市街(オールドシティ)の地面を掘っています。そのせいで旧市街の中の 2 件の家(パレスチナ人の)が突然壊れてしまいました。彼らはこのようなことをパレスチナ人に説明もなく行っているのです。このようなことをやっていると、本当に危険です。ニュースでこのような光景を見ると、泣きたくなりますが、私は他人に自分の弱いところを見せたくないの、泣かないようにしています。

Q. 2014 年夏にガザで起こった戦闘はガザの人に大きな傷を残したものだと思いますが、ニュースなどにガザの様子を見ていてどう思いましたか？

A. ガザの戦争について。私たちがサイレント・ウォーと呼ぶものがあります。ガザでは毎日のようにイスラエルとの衝突やいやがらせがあります。でもメディアはそれを外の世界に見せようとしません。だから私たちはこれをサイレント・ウォーと呼んでいます。メディアが報道をしないだけで、このような事件は毎日起こっているのです。このような話があります。ガザという土地を地図から抹殺してはどうか。そうするとガザはいまある土地から切り離される、と。この案はとても平和的だという人がいます。私はこの話を聞いたときに、地図から人や土地を切り取ってしまうことのどこが平和なんだと思いました。こんなひどい考え方

は聞いたことがありません。しかし、これはある意味で経済的なのです。エジプトがガザへのチェックポイントを封鎖したように、これでイスラエルは強い経済を保つことができますよね。

Q. 私にいつも話してくれる地図の話をお聞かせください。

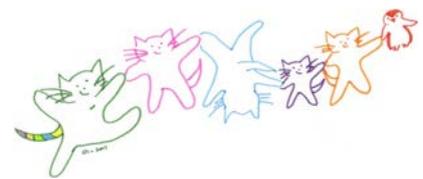
A. 私の行っていた大学で地図を描くという課題がありました。大学はインターナショナルでさまざまな生徒がいました。そこで私は、私の心の中の地図を描いたのです。するとクラスメイトたちが私の地図を見て、なぜ2つの都市がこの地図には描かれていないのかとたずねたのです。おそらく彼らは、私が描いたのはパレスチナ人からみた地図だと思ったのでしょうか。でもそこには地名ではなく、点しか描いていなかったのです。私がなぜ点で描いたのか、それは私にとって地名は何の意味もないからです。それぞれの点は私の友達がいる場所を示しているのですから。だから今日本と言うと、Marieの顔を思い浮かべます。



Q. 平和の色って何色だと思いますか？

A. 私にとっては私の好きな色の、夕焼けの色です。淡いピンクと淡いブルーがグラデーションになっているあの色がいいですね。

Walaa ありがとう！



写真：彼女とは難しい話題からおもしろい話題まで話せるところが好き

(左:まりにゃん、右:Walaa)



ガザからの1枚。半分壊れている建物。

ガザからの写真、チェックしてね！

<https://www.instagram.com/habibtfaleshtine/>

みなさまからのあたたかいご支援に感謝いたします。(ヤフー募金ページ)

<http://donation.yahoo.co.jp/detail/776009/>

まりにゃん

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 91

今月のテーマは、お布団から出ないでできるポガ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、お布団から体をださずに、顔だけだしましょう。目を天井まで上へ。そして床まで下へ動かしましょう。
3. つぎは、お布団の中で丸くなったまま、目を右へ。そして左へ。
4. 最後は、右周り、左回りと目を回しましょう。勇気を出せる人は手、足、しっぽもいっしょに布団から出して回しましょう。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

ご一緒にいかが？



次回のポー会: 1月15日 19:00~20:30 神戸 YMCA

2016. 1. 15 ポー会で阪神淡路大地震を考える！

2016. 2. 4~9 ポーポキ in 大槌町！

2016. 3 ポーポキのミニ平和映画祭 (予定)

ポーポキの友だちからのお知らせ

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。

すてきな写真集です。注文などは: 下記のサイト又は前田圭子さんへ。

m.dodo@h2.dion.ne.jp

<http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なにに色？』の背後にあるもの」（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なにに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なにに色？』「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなにに色？」KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなにに色？」KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいからなんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8 10 面





私にとってのポーポキ

もちにゃん

ねこのポーポキが、昼寝をしたり、庭をたんさくしたり、ともだちと遊ぶ・・・
シンプルな生活が、自然におくれること。次の日も、その次の日も

私も、朝起きる、電話をする、ごはんを食べる、鼻歌を歌う、友達に手紙を書く、本を読む・・・
何も考えずとも、次の日も同じことができる暮らしがある。

そんな時、ポーポキが私の目の前を通り過ぎます。
これは、当たり前のように、当たり前ではないと。
世界の悲しいニュースや戦争、予期しない災いなど、穏やかな時間の大切さを感じます。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!